

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	姉妹都市交流促進事業 (130112)			担当課	秘書広報課		
	開始年度	昭和58(1983)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	田村 雅之		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 諸費	決算附属資料	96	頁	
	施策の大綱	文化活動の推進			関連計画等	-		
	施策名	多様な文化交流を推進する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	行政間だけの交流にとどまることなく、市民ぐるみで人・物の交流を促進し、島原市との友好の絆を深める						
	対象者	市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	0.03		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	福知山マラソン会場において「島原物産展」を開催 「提携記念日行事(巡回パネル展等)」の実施 うまいもの展、スイーツフェスティバル等イベントでの島原物産展の開催						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		需用費		マラソン会場「島原物産展」具雑煮提供の材料費他			144	
使用料及び賃借料		具雑煮調理ガスコンロ使用料			6			
関連事業	姉妹都市友好親善市民交流事業							
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		258	258	183	199	
		補正予算等・・・②		0	△ 62	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		258	196	183	199	
		国支出金		0	0			
		府支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		0	0	0		
		特定財源名称 (H29実績)					頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.28/0	0.28/0	0.28/0		
		概算人件費・・・④		2,240	2,240	2,240		
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			2,498	2,436	2,423			
執行状況	執行額・・・⑥		107	150				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		41.5%	76.5%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		物産展来場者	人	3000 / 3000	2000 / 3000	/ 3000	3000	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		物産展等の開催	回	5 / 5	3 / 5	/ 5	5	
		単位あたりコスト		21.4	50.0			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	市民ぐるみの友好交流を進めていくために、行政が果たす役割を考えなければならない。市民の認知度を高めるPRが十分出来ているのか検討する必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	効率よく有効に事業が実施できるよう、島原市からの協力を得ている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	物産展・パネル展を通して姉妹都市・島原市を周知するにとどまっている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	物産展での販売状況から交流事業も定着しているように思われる。さらに人や物を介して友好交流を内外に発信する機会を考える必要がある。	
	今後の課題及び方向性	島原市との姉妹都市提携は、当時の市民の熱い思いのもと結ばれたものであるが、近年、転出・転入等、ひとの移動が活発にある中で、引き続き、市民に姉妹都市島原市への愛着と友好の思いを持ってもらえるような事業展開をすることが課題である。現在、物産展やパネル展等、様々な機会でも事業を展開しているが、それぞれの事業の中で、姉妹都市島原市に興味と愛着を持っていただくための見せ方、「PR」方法に工夫を凝らしていきたい。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	現状の事業を継続して実施していく中でその内容を広報ふくちやまやSNS等で発信し、姉妹都市・島原市をより身近に感じていただけるようにしていく。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		